

記者発表資料

平成26年2月26日
雲仙復興事務所

快適な砂防指定地利活用のために
—平成25年度 雲仙岳砂防指定地利活用懇談会を開催します—

雲仙普賢岳の噴火活動に伴う火砕流および土石流に対し、砂防事業を進めていくために広大な土地が砂防指定地となり、砂防指定地内においては、行為に制限がありました。

当事務所では、砂防指定地の有効活用を図る観点から、地域住民の方々の意見をいただき、これまでに懇談会等を開催し、利活用に対する取り組みを進めてまいりました。

本懇談会は、これまでに検討してきた内容について、砂防指定地利活用に関する基本的考え方としてとりまとめることを目的として下記のとおり開催致します。

記

「平成25年度 雲仙岳砂防指定地利活用懇談会」

【開催日時】平成26年2月28日（水）13時00分～17時00分

【会場】現地見学会：雲仙復興事務所3階会議室集合
懇談会：雲仙復興事務所3階会議室

【参加者】別紙のとおり

【取材等】事前に別紙にて申し込み下さい

問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 雲仙復興事務所
(0957) 64-4171（代表）

技術副所長 古賀 唯雄（内204）

調査課長 目床 順司（内351）

ホームページアドレス：<http://www.qsr.mlit.go.jp/unzen/>

「平成 2 5 年度 雲仙岳砂防指定地利活用懇談会」詳細スケジュール

1. 現場見学会 【取材制限なし】

以下の予定は変更になる可能性があります。悪天候の際は見学会を中止し、懇談会を繰り上げて行う予定ですので、1 3 時に事務所へお越してください。

1 3 時 0 0 分 参加者集合・当日のスケジュール確認

(集合場所：雲仙復興事務所 3 階会議室)

※お車でお越しの方は、事務所駐車場をご利用ください。

1 3 時 1 0 分 雲仙復興事務所出発

① 水無川徒歩横断

② 北上木場地区

③ 千本木展望所

④ 火砕流大露頭

⑤ 北千本木 3 号砂防堰堤

※当日は①大野木場側から北上木場側まで水無川を徒歩で横断します。歩きやすい服装・靴でお越してください。

※ヘルメットを持参いただきますようお願い致します
(持参できない場合は事前にご連絡下さい)

※マイクロバスでの移動となりますが、乗員の都合上、報道関係者の方は自走にて移動をお願い致します

1 5 時 0 0 分 雲仙復興事務所到着

2. 懇談会 【3. 出席者紹介まで取材可】

1 5 時 1 5 分

座 長：長崎大学名誉教授 高橋和雄

事務局：雲仙復興事務所 調査課

1. 開会

2. 挨拶

3. 出席者紹介

4. 資料説明

(1) これまでの経緯 (利活用構想策定～現在)

(2) 利活用検討結果について

(3) 利活用の基本的考え方について

5. とりまとめ

6. 閉会

1 7 時 0 0 分

平成 25 年度

雲仙岳砂防指定地利活用懇談会

出席予定者名簿

※敬称略

所 属 ・ 役 職	氏 名
【座長】 長崎大学名誉教授	高橋 和雄
雲仙岳災害記念館 副館長 (代理 島原半島ジオパーク推進連絡協議会 事務局長)	杉本 伸一 (代理) 田口 克哉
九州大学 准教授 九州大学大学院理学研究院附属地震火山観測研究センター	松島 健
株式会社ケーブルテレビジョン島原 代表取締役	清水 真守
島原市安中地区町内会連絡協議会 会長	前田 勝義
安中地区まちづくり推進協議会 会長 NPO 法人島原普賢会 理事長	大町 辰朗
雲仙百年の森づくりの会 会長 (代理 雲仙百年の森づくりの会 事務局長)	宮本 秀利 (代理) 旭 芳郎
中尾川利活用推進委員会 会長 杉谷地区町内会連絡協議会 会長	末永 安廣
長崎県島原振興局 建設部管理課長	谷口 克人
島原市建設部 道路課長	井上 孝
国土交通省雲仙復興事務所 技術副所長	古賀 唯雄

平成25年度 雲仙岳砂防指定地利活用懇談会
取材申し込み用紙

所 属	氏 名

取材を希望される場合は本用紙に所属と氏名を記入の上、
下記までFAXにて提出下さい
(締切:平成26年2月27日17時)

○提出先

雲仙復興事務所調査課

TEL:0957-64-4171

FAX:0957-63-0914